

# 《みんなの北三瓶・・・北三瓶はひとつです》



令和6年11月21日 第186号  
発行 北三瓶まちづくりセンター



## 北三瓶 <sup>ぶんか</sup>文化 <sup>しゅうかん</sup>秋間 作品展示会

11月7日～15日の期間(9・10日休み)で北三瓶文化秋間作品展示会を開催しました。北三瓶の各サロンとパッチワークの会による作品、放課後子ども教室と北三瓶こめっこクラブの作品と活動報告、須藤光行さんと須藤あけみさんの写真を北三瓶まちセンで展示させていただきました。山口駐在所の植本さんによる防犯啓発コーナーがあり、役立つ情報と交通安全グッズ等が貰える「ガチャガチャ」が喜ばれていました。また、北三瓶小・中学校で育てたモチ米の販売もあり、多くの方々が購入されました。



サロンそら



おしゃべりサロン



パッチワークの会

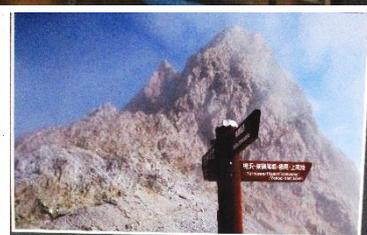


上立石サロン



### お名号さん

指書きの名号石  
と  
名号校(櫻楓の校)



槍の穂先のちっちゃな存在  
絶景の中で  
ちっちゃく存在したい。

須藤 あけみ

# 花車奉納



11月3日 山口八幡宮例大祭があり、伝統の「山口花車」が5年ぶりに奉納、町を練り歩きました。これまでの作業として花作りは地元・山村留学の子ども達、山村留学生受け入れ農家、やまびこ会会員が。絵馬に奉納の文字を入れてくださった板木ひとみさん、駐在署の植本真一さん等たくさんの人の手を借り立派な花車が出来ました。花車の芯棒を実行委員会の多数の方々が作る姿は「凄い！！」の一言でした。今年は伝統継承の思いをこめ、初めて子ども花車を大國栄伸さんが作ってくれました。前日、練る練習をして本番に備えました。参加者は本番当日集合をかけたが、小中学生が沢山集まってくれました。町の方々が「可愛かったよ」「すごいね」と褒めてくれました。花車は激しく揺すったり、回転したり迫力ある姿を見せてくれました。町に2台の花車が練り歩いたのは何十年ぶりだったのでしょうか？

山口の花車は全部の作業を実行委員会や地元の皆さんで作ります。

約100年も続いている「山口花車」は小さな町の誇りです



勇壮な花車が  
町を練り歩きます



初の子ども花車が  
町を走りました



たくさんの人の協力をいただき、ありがとうございました。  
「山口花車」は長年の愛護活動と普及啓発が認められ、文化財愛護活動顕彰で12月8日表彰されます





## 今までの対策についてと今後の方向性を聞く！



10月29日に島根県西部農林水産振興センター 県央事務所の澤田さんと岩下さんが北三瓶まちづくりセンターに来られました。

鳥獣害グループからは須藤さんと大國さんに来ていただき

今までのサル群れの出没経緯や対策の聞き取り調査をしていただきました。

こちらからの要望は話したことから今までの対策でいいのか今後の方向性について教えてもらいました。

### ○今後の方向性

☆ニホンザルの群れはメス集団です。メスは自身が産まれた群れで一生をすごしますが、オスは自身が産まれた群れの出入りを繰り返して、違う群れに入ったり、ハナレザルになったり、4~5頭のオスグループを形成したりします。北三瓶地区に出没しているサルが、群れなのかオスグループなのか特定をする必要があります。なぜ特定する必要があるのか？群れの場合は、北三瓶地区がサル群れの遊動域に含まれており、サル群れにとって魅力がない地域である（北三瓶地区にいても追い払いや電気柵があつて餌が食べられない。）ことを学習させる必要があります。一方、オスグループの場合は、放浪しているので追い払いや対策は必要ですが、突然なくなる場合もあります。したがって、群れかオスグループかの特定は必要になってきます。

☆ サル対策研修を受けて、誘因物（クリ）の除去を直ちに実践されたのは、素晴らしい取り組みです。伐採は所有者の許可や伐倒の技術が必要となり、だれもができることではありませんが、地域一体で1本でも放任果樹がなくなれば、サルにとって魅力ない地域になっていきます。

☆ LINE グループを立ち上げて、北三瓶地区でサル情報を共有されているには素晴らしい取り組みです。情報収集の蓄積で地域が取り組んでこられたことを見える化することができます。だれもが負担にならないペースで継続されることが重要です。

☆ 追い払いによる対策は、短期的な効果でなく長期的な効果になります。特定の人に負担がかからないように、だれもができることを継続してやっていくことがポイントです。サル対策で一番やってはいけないことは、「サルをみてもないもしないこと」です。人間がなにもしなければサルは人間は怖くないと学習をしていきます。駆除雷でなくても、ロケット花火、手をたたく、などなど。なんでもいいのでサルになにかしらのプレッシャーをかけることが重要です。

☆ みなさんが取り組んでおられる、サル情報の共有、追い払いがどうなのかを1年に1回、みなさんで共有するフィードバック研修をやっていけば、みなさんのやる気も継続されると思います。

⇒県央事務所独自でセンサーカメラを設置しました（11/7設置）。

センサーカメラにサルが写れば群れかどうか特定できるかもしれません。



下多根地区

地図におとした目撃情報の確認と初めからの対策を話しました。

## 情報いろいろ

(問い合わせ/申し込み:北三瓶まちセン 0854-86-0478)

### in 北三瓶 **さんすう・数学・工作 おもちゃ箱**

算数や数学が苦手な人でも大丈夫!作ったり、さわったり、工作しながら楽しく体験!  
生活の中に算数・数学がたくさん使われていることを発見してみよう!遊びコーナーもあるよ

12月1日(日) 午前9時30分~午前11時30分

- 場 所 大田市山村留学センター〔三瓶こだま学園〕
- 講 師 神田裕之氏(数学教育協議会松江サークルの先生)
- 対 象 小学生・中学生・保護者・教職員
- 持 ち 物 はさみ・のり



※ 申し込み:まちセンへ 締め切り11月29日(金)

### スマホ・パソコン教室

日時 : 12月5日(木) 午後1時30分~午後3時

場所 : 北三瓶まちづくりセンター

講師 : 福田卓夫さん(大田町野城) 参加無料

\*お持ちのスマホ・パソコンをお持ちください。無い方にはタブレットをお貸しします。

参加を希望される方は、まちづくりセンターまでご連絡ください。

### 大腸がん検診 (容器配布)

日時 : 12月5日(木)・6日(金) 午前9時~午後4時

場所 : 北三瓶まちづくりセンター

持ち物:保険証、検診料金600円、健康手帳

### やまびこ会 **ぬり絵ポストカード作り**

日時 : 12月23日(月) 午前10時~正午頃まで

場所 : 北三瓶まちづくりセンター

参加費 : 600円 申し込み締め切り12月18日(水)



北三瓶の人口(10月末の住民票上): 男性 192人 女性 238人 **合計 430人**